

## 富秋中学校区等まちづくり検討会議（平成 30 年度第 7 回） 議事概要

1. 日 時：平成 31 年 3 月 28 日（木）19:00～20:30

2. 場所：和泉市 人権文化センター 大会議室

3. 出席者：委員 14 名  
和泉市職員 12 名  
コンサルタント 3 名

### 4. 議事次第

- (1) 部会での検討状況について
- (2) サウンディング調査の結果について
- (3) 将来のまちの姿について
- (4) 今後の予定

### 5. 議事概要

#### ■部会での検討状況について

※以下、特記無き場合委員の発言

- 市浦より資料説明 資料 1-1 【子育て・教育部会報告】  
資料 1-2 【みんなの居場所づくりイベント結果報告】  
資料 1-3 【住環境コミュニティ部会・福祉部会報告】

#### ■サウンディング調査の結果について

- 市浦より資料説明 資料 2 【富秋中学校区等まちづくり構想策定に向けた  
民間事業者サウンディング調査について】

#### ■将来のまちの姿について

- 市浦より資料説明 資料 3 【将来のまちの姿（機能の配置など）について】
- 以前の説明会で、和泉第一団地は平成 32～33 年には建替えるという話だったが、一向に進まない。団地総会でも住民から建替えはいつ頃かと聞かれている。現在入居者の募集は停止中で、入居者数は 186 世帯まで減少し、隣近所の入居者がいないので周りを頼りにすることもできず、緊急時に助けを呼ぶベルが 3～4 か月に 1 回は鳴っている状況である。市営住宅の建替えについて、市の基本的な考えを聞きたい。  
⇒（市）  
具体的な建替えの時期等については計画もないので何も言うことができないが、和泉第一団地と丸笠団地が優先順位として高いことは確かである。
- 廊下の壁がボロボロで何とか出来ないか、という住民からの意見も出ているが、建替え予定のため

(根本的に)直すことはできないとしか言いようがなく、自分たちで掃除せざるを得ず大変な状況。できるだけ納得してもらえるように住民へ説明してほしい。

⇒(事務局)

今回のまちづくり構想の絵が完成した上で、市としての方針が決まれば、来年度中には市としての考え、大体のスケジュールが出ることかと思うので、我々としては、まちづくり構想の絵を秋までに完成させるために、色々な意見を出していきたい。

- 将来のまちの姿について説明があった内容については良いことだと思う。ただ、それによって地域に新たな人口がどれだけ流入してくるのかが問題。新婚世帯への補助など、行政からの方策・施策の案を色々出してもらわなければ新たな人は来ないと思う。和泉市全体としては人口が増えているが、昔のままの地域をどう活性化していくか、施策を考えることが重要であり、まちづくりの考え方と同時並行で進めなければ難しいと思う。

- 用途地域変更の可能性はあるのか。

⇒(市)

用途地域の変更については大阪府に権限があり、5年に1度見直しをしている。可能性としてはあると思うが、スポット的ではなくある程度面的な変更になると思う。これからまちの姿が変わっていく中で、地域の声があれば検討は出来ると思う。

⇒(事務局)

商業施設の場合は用途変更も必要になるので、地域として商業の核が欲しいということを市に伝え、足並みを揃えてやっていくことになろうかと思う。

- 池上小学校の西側にある市営池上住宅の跡地は今後どうするのか。

⇒(市)

唐国住宅へ集約するため、5月までに引越しを完了する予定。その後平成31年度内に解体を予定しているが、現時点で時期は未定。跡地については、池上曽根史跡の範囲に入っているため、担当部署へ引き継ぎ、史跡関係の利用を予定として考えている。

- 跡地について、新年の集まりの際、商工会会議所会長のあいさつの中で、道の駅を考えているという意見があった。将来的なまちづくりの中で、道の駅の構想は市全体でどのように考えているのか。活性化にはつながると思うが、問題も多いと思う。

⇒(市)

担当課から最近話を聞いただけで、まだ具体的な議論を行っていない。民間事業者がつくるのであれば検討も可能だが、資産マネジメント課としては、今後30年以内に公共施設の床面積を30%減らすという目標を掲げていることから、市として新たな施設をつくることは難しいと考える。

- 「まちの核」をつくるためにはある程度の面積が必要であることを考えると、校区内では各学校跡地くらいであり、また施設一体型義務教育学校をつくる場所として敷地が一番大きい富秋中学校にした場合、和泉第一団地の辺りが学校とも近く「まちの核」となる可能性が高いと思っている。そこであれば、池上、富秋とも隣接している場所でもあり、新たな学校との連携も可能な施設ができるのではないかと。現在の施設は、地域の中でバラバラで縦割り型なので、横のつながりがあり、富秋中学校校区全体を網羅できるような施設は必要だと思う。

- 小栗街道や信太盆踊り、葛の葉伝説など地域の歴史資源を活用したまちづくりができればよいと思う。例えば、「信太盆踊りロード」や「歴史街道」などが出来ればイメージが変わるのではないか。他にも、地場産業としてガラス細工や人工真珠、太鼓などがあるので、まち全体がそうした観光資源の活用、歴史・地域資源を学べる場所ができればよいのではないか。
- 最近では実施されているのか分からないが、以前実施していた歴史ウォークラリーには、全国から人が参加していた。今の実施状況はどうか。⇒（市）

ツデーウォークについては実施しない方針と聞いている。歴史ウォークについての状況は把握していない。
- たまたま信太中学校の前にあるUR鶴山台住宅の住民と話をしたが、建替えに当たって引越しを始めており大変ということだった。丸笠住宅、和泉第一団地の建替えにあたっては、入居者の仮移転先は校区内の空いている市営住宅になるのか。

⇒（市）

基本的には、新しい市営住宅を建て、引越しはその住宅への移転のみで済ませ、引っ越した後の住宅を解体して空いた土地に新たな住宅を建ててまた移転、というように仮移転がなるべく発生しないようにしたいと考えている。

⇒（事務局）

空いている住宅に移転してもらう場合、今住んでいる住宅でのコミュニティが壊れてしまうことにもなるので、コミュニティを維持していくことは必要になると思う。
- 新たな「まちの核」が一つできたとしても、利用者が少なければ宝の餅腐れであるが、次の核ができるまでどれくらいのスケジュール感なのか。例えば新たな学校をつくる際について回る「今の人数のままつくって問題は解決するのか」という意見については、まちづくり全体で人口を増やしていければという話だが、学校が最初にできたとして、次の核がどれくらい出来るのか、学校と商業施設等ができる間隔が短ければスピード感が増すと思うので、そういったことも踏まえてまちづくりを考えるべき。

⇒（市）

一般論だが、施設一体型義務教育学校が出来た後に、残った学校を解体し、民間の施設を建設するという事なら、比較的早くできると思う。
- 民間の商業施設を建てる場合は良いと思うが、市の予算に関わる和泉第一団地の建替え・複合施設の建設には、新たな学校と同等以上の費用がかかると思う。そうすると、核同士が出来る時間がかかり、全てが後手に回るような気がするが、その穴埋めの方法として、先日のイベントなど人を呼び込む準備が必要になると思う。また、現状色々な団体が地域で活動しているが、全てバラバラで動いていてもったいないので、まちづくりの検討活動を横串で情報共有できるような組織が必要。

⇒（事務局）

まちづくりの推進体制は確かに必要だと思う。

⇒（事務局）

学校にしても、複合施設にしても、施設をただつくれば人が集まるわけではなく、どのような機能をもたせるか、内容をどうするかが重要。高齢者だけ集まるのか、子どもの相談機能、住宅管理機能もあるのか、など中身によって（人が集まってくるかの結果が）変わってくると思う。

- 例えば校区の中心側に今ある施設を集約していった場合に、丸笠団地など取り残されてしまうエリアへのフォロー体制が必要。
- 各団地高齢者が増加し役員の担い手が少なくなっていることもあり、今の10団地という形で物事を考えて良いのか疑問。また、各団地の集会所の稼働状況を考慮して、統合など集会所機能の工夫を、今から考えていくべき。

(まとめ)

- 次の検討会議でも同様の議論になると思うので、まちの核について、どう活性化させていくのか、ということについて意見を考えておいてもらいたい。また今後開催予定の、住環境コミュニティ部会・福祉部会の合同部会の中で引き続き議論していければと思っている。「まちの核」というとすごいものができるイメージにもなるので、「まちのへそ」など代わりとなる言葉が何かあれば。

#### ■今後の予定について

○ 市浦より資料説明 資料4【今後の予定】

- 次回、5月中旬の検討会議では、福祉・住環境コミュニティ部会での意見も踏まえて、事務局で作成したまちづくり構想の素案について意見をもらう予定。

#### ■事務局より

- 来年度役職が変わるなど変更がある人は個別に連絡をしてほしい。その際、役職交替後も検討会議に引き続き参加いただいても構わないので、相談の上連絡をお願いしたい。

以上